



ゴールドラット博士の TOC (30) (中国語でのチェンジ・ザ・ルールの再読)

インベントリー・ダラー・デイズ

5 月②のごあいさつ

山内公認会計士事務所

2025 年 5 月 11 日(日)

倉庫における在庫の健全性については、インベントリー・ダラー・デイズが提唱されている。

在庫や仕掛品が企業のキャッシュ・フローや経営効率にどう影響を及ぼすかを評価するための指標である。在庫がいくらで、何日間滞留していたかを掛け合わせたもの「在庫金額×滞留日数」として在庫管理に活用することになる。

これによって、

- (1) 在庫が長期間倉庫に滞留していることのコスト意識を高める
- (2) 資金の流動性を高め、キャッシュフローを改善する
- (3) 業務のスピードと効率を図る

ことが出来る。

従来の「在庫量」だけに注目するのではなく、「在庫の存在によって、どれだけキャッシュが寝ているのか」という視点で経営を見直すことが出来る。

単に金額のみで評価するのではなく、その在庫が滞留している時間との掛け算(インベントリー・ダラー・デイズ)で見ることで企業のパフォーマンスを定量的、金額的に改善しようとするアプローチである。

例えば、A 商品の在庫金額が 1,000 ドル、それが 30 日間倉庫にあった場合、「 $1,000 \times 30 = 30,000$ (インベントリー・ダラー・デイズ)」となる。これが高ければ高いほど「資金が寝ている」、「ビジネスの回転が遅い」ことが可視化できる。

これによって、(1)在庫回転率の改善、(2)仕掛品や完成品のスループット向上、(3)不要在庫の削減、(4)キャッシュフローの改善、を行い、企業体質の向上を目指すための可視化ができる指標として使える。

実務上、在庫管理、滞留在庫の可視化が図れ、長期滞留在庫の販売促進や処分に活用できる。